

令和6年度 学校評価 丹波市立上久下小学校パワーアッププラン

1 目標・方針

中期的な学校運営の目標・方針	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考えて行動する主体性を持ち、たがいのよさを認め合いながら、人とつながり、協働できる児童を育成する。 ・学校・家庭・地域社会の連携と協働を深め、それぞれの教育力を活かし、特色ある学校づくりを進める。
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え、自分で判断して行動しようとする姿勢・態度の育成 ・人にかかわろうとする意欲とコミュニケーション能力の育成 ・ふるさとの歴史や文化についての学びを通じた地域への誇りと愛着の醸成 ・学校運営協議会の活性化によるコミュニティスクールの取組の一層の充実

2 自己評価(達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善)

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	生活指導	好ましい人間関係と豊かな集団生活が営まれる学級・学校づくりの推進	B	挨拶を中心に友達との関わりを深めるために「声の大きさ」や「相手に伝わる挨拶」を全教職員で指導していく。また、児童とのコミュニケーションをより大切にするとともに、日々のきめ細かい観察力で安心できる学校づくりに努めていく。
	開かれた学校づくり	学校・家庭・地域、双方向の情報交流の推進	A	地域の方の協力を得た教育活動が実践できている。学校からの情報発信についても、継続してよく取り組んでいる。「地域とともにある学校」づくりを今後も推進していく。
	危機管理体制の整備	安全・防災教育の充実と教員の実践的な研修・訓練	A	避難訓練では放水訓練による初期消火体制の確認や、訓練の様子振り返りから防災体制の見直しを図ることができた。登下校では毎月の地区別集会や下校指導で児童が安全に登下校できるよう呼びかけていく。
教育課程	教育課程編成	学校教育目標達成に向けた特色ある教育課程編成	B	一部の授業を学年合同で行う「上久下スタイル」を導入して4年目となり、アンケート結果から一定の評価を得ている。2学年合同の学習において、多様な見方・考え方を交流できる良さを児童・保護者が実感できるよう、日々の授業づくり、取り組みの周知に努めたい。
	学習指導	基礎・基本の定着と個に応じた学習指導の徹底	A	対話的な授業づくりを校内研修の主題に定め、「伝える力・つながる力」の育成に向けて研修を進めた。今後も児童が意欲的に自分の考えを伝えられる授業づくりを進める。
課題教育	人権教育	発達段階に応じた仲間づくり	B	小規模校の良さを生かし、全校での関わりを大切にしながら、リーダーシップ、メンバーシップを育てていく。また、人権課題が多様化している中で、学年に応じた人権学習に取り組み、児童の人権感覚を高めていく。
	情報教育	児童に対する情報教育の充実と教員の実践的な研修・訓練	A	オープンスクールでは、情報モラルについての授業を全学級で行った。今後も、ルールの啓発を定期的に行っていく。ICT機器を、学びを深める・広げる・発信するツールとして児童自ら活用をしていけるように取り組む。
	特別支援教育	一人ひとりの見取りをもとにした、個に応じた支援の推進	A	4月や行事の前には、一人ひとりの頑張りや得意・不得意を認め合えるよう、その都度啓発を行った。また、特性の見取りをもとに、個々の特性に寄り添った支援ができるよう、校内委員をはじめ各関係機関と連携を図った。今後も継続して、個に応じた支援を進めていく。

3 学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> ・基本である挨拶や先生に相談しやすいかの部分で、児童の低い評価が気になる。挨拶について、大人がどう思っているかを子供たちに説明する機会があればよいと思う。 ・登下校については、毎日の放送により、安全に対する意識が地域の方々に伝わっている。児童・教師・保護者・地域・行政等が一同に会して検証が必要ではないか。 ・上久下スタイルやタブレットの活用について、保護者の不安や心配が表れているように感じる。小規模校のメリットを生かし、一人ひとりに目が届く指導を期待している。 ・視野を広める経験、自由にコミュニケーションができる機会を多く取り入れ、活かす力、書く力、対人スキルを高めてほしい。 ・多様性の時代と言われる。自分と違う他者を認められるような人間に上久下っ子は育ててほしいと願っている。

4 次年度の改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係づくりの基本となる挨拶については、相手に伝わる気持ちの良い挨拶ができるよう取り組みをすすめる。 ・下校放送により地域の見守りの協力依頼を続け、学校・保護者・地域・関係機関と連携して危機管理に取り組む。 ・多様な見方・考え方に触れる機会を大切に、自分も相手も同時に大切にできる心を育てる。 ・児童一人ひとりの特徴や力をより深く理解し、様々な機会を通してコミュニケーション能力の向上を図り、自ら学ぶ力を高められる授業づくりに取り組む。

令和7年3月7日
丹波市立上久下小学校
校長 大木 修